

第 29 回近畿ブロック大会（大阪大会） 【2 次案内】

大会主題 「きこえとことばの教育の充実をはかる」

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 第 29 回近畿ブロック大会を大阪市にて開催することになりました。

本大会は、きこえやことばの教育にかかわる内容の講習会を実施するとともに、取り組みや指導内容などについて、近畿地区のお互いの実践を交流し情報交換をし合うことで、日々の指導に役立てていただこうと考えて企画いたしました。

第 29 回近畿ブロック大会へ、多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

第 29 回近畿ブロック大会長 矢寺 勝彦（大阪市立北中道小学校長）

- ◇主 催 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会近畿 6 府県連絡協議会
 - ◇後 援 大阪府教育委員会（申請予定） 大阪市教育局（申請予定） 堺市教育局（申請予定）
 - ◇期 日 令和 7 年 7 月 31 日（木）
 - ◇会 場 大阪市立北中道小学校 〒537-0025 大阪市東成区中道 2-9-20
 - ◇日 程 9：00～ 受付
9：30～ 事務連絡
9：40～12：00 講習会（5つの講座、選択制）
12：00～13：30 昼食・休憩
13：30～16：30 分科会（5つの分科会、選択制）
- ◇参加申し込み：会場の都合上、講習会および分科会の定員を決めています。
- 参加申し込みは、メールでのみ申し込み順に受け付けます。定員をこえると参加をお断りすることがあります。
- 全難言協のホームページで、参加を受け付けているか等、確認の上、参加申し込みをしてください。
- 参加の申し込みは、6月16日（月）から7月11日（金）の間でお願いします。
- ◇参加費 1000 円（当日、受付でお支払いください）

朝 6 時の段階で大阪に
何か気象に関する警報が
出された場合、中止します

◇講習会 担当府県が中心になって運営にあたります。

講 座 名	内 容
構音障がい 担当：和歌山 【定員 50 名】	『構音の評価のしかた』 子どもの発話や構音を注意深く評価・分析することによって、背景にある原因や関連要因に気づき、構音指導への手がかりを得ることができます。構音発達や音韻意識などの知識をもとに構音の評価の仕方について考えます。 講師：大阪保健医療大学言語聴覚専攻科非常勤講師 言語聴覚士 吉田 紀子 先生
聴覚障がい 担当：兵庫 【定員 30 名】	耳の構造や聴こえの仕組みについての基礎理解から、伝音難聴がある子の耳疾患への具体的支援について、多くの臨床経験を元に解説します。 講師：姫路獨協大学医療保健学部 言語聴覚療法学科 教授 神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科 非常勤言語聴覚士 諸頭 三郎 先生
吃音 担当：京都 【定員 30 名】	『吃音のある子どもの今と将来を支える支援』 以下の 2 点についてお話しします。 ①吃ることで不利益を被ることなく過ごせる学校環境を作ること。 ②教室終了後を見据えて吃音に対する認識を育てること。 講師：NPO 法人 Hahato.co 脇 豊明 先生
発達障がい 1 担当：滋賀 【定員 50 名】	『学習の土台となる身体づくり』 学齢期では読み書きや集中力の高さが求められます。『身体』が整ってこそ発揮される力です。これらにつまずいている子どもたちには、目に見える姿へのアプローチではなく、背景に隠れている身体に目を向ける必要があります。体験を交えながら普段の視点を変えてみませんか？ 講師：花園大学社会福祉学部 専任講師 川島 民子 先生
発達障がい 2 担当：奈良 【定員 50 名】	『アセスメントに基づく指導教材の紹介』 あなたはなぜその子にその指導をしているのですか？ 手軽に行えるアセスメントテストの紹介と、その結果に基づく指導教材の紹介をします。参加者と教材の交流も行う予定です。 講師：奈良県大和郡山市立郡山中学校通級指導教室 中尾 和人 先生

◇分科会 担当各府県が中心になって運営し、コーディネーターによる助言やレクチャーなども取り入れます

分科会名	内 容
構音障がい 担当：和歌山 【定員 50 名】	『構音障がいと言語発達に課題がみられる子どもへの自己肯定感を高める指導と支援』 ラ行、ダ行を混同しており、不明瞭な発音で話すことから、何に対しても自信がない児童への指導事例を紹介します。ことばの教室で「自分にもできた」「分かった」という達成感を感じ、自己肯定感を高められるような方法を一緒に検討したいと思います。 和歌山市立紀伊小学校 ことばの教室 渡邊 真由美 ☆コーディネーター：大阪保健医療大学言語聴覚専攻科非常勤講師 言語聴覚士 吉田紀子 先生
聴覚障がい 担当：兵庫 【定員 30 名】	『小3 女兒の通級による指導事例ときこえとことばの教室での指導連携について』 真珠腫性中耳炎、外耳道狭窄がある子への指導事例、きこえにくい子どもたちのグループ指導や担任連絡会、保護者参加の取り組みなどの実践例を紹介します。 神戸市立谷上小学校谷上きこえとことばの教室 中村 淳 特別支援教育相談センター 今井 裕子 ☆コーディネーター：姫路獨協大学医療保健学部 言語聴覚療法学科 教授 神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科 非常勤言語聴覚士 諸頭 三郎 先生
吃音 担当：京都 【定員 30 名】	『吃音のグループ学習の試み』 京都市では年に 1 回、吃音で通級している児童たちの交流会「なかよしになろう会」を開催しています。グループ学習に取り組み、吃音についての学びの深さが様々な異学年の子どもたちが出会うことで個々に成長があると考えて取り組んでいることを報告します。 京都市立上賀茂小学校 ことばときこえの教室 山内 智代 ☆コーディネーター：元京都市ことばときこえの教室担当 脇 豊明 先生
発達障がい 1 担当：滋賀 【定員 50 名】	『児童生徒を中心に据えた支援のつながり』 児童生徒への指導・支援を進める中で、様々なつながりを生かし、連携しながらよりよい指導・支援を探ってきました。彦根市と大津市の実践事例を報告します。 彦根市立城東小学校 通級指導教室 川端 祥代 大津市立瀬田北小学校 通級指導教室 井口 貴之 ☆コーディネーター：川島 民子 先生（花園大学社会福祉学部 専任講師）
発達障がい 2 担当：奈良 【定員 50 名】	『通級指導教室における感覚統合遊びの実際と児童の変容について』 『学習障害児の早期発見と早期介入のための手立てと支援の実際』 通級教材 Web サイト「教材倉庫」管理人の中尾先生によるレクチャーも交えて進めます。 奈良市立富雄北小学校ステップ教室 山中 伸子 奈良市立朱雀小学校ステップ教室 上田 鮎美 ☆コーディネーター：奈良県大和郡山市立郡山中学校通級指導教室 中尾 和人 先生

◇会場付近図



会場へのアクセス

森之宮駅から東へ「中道 2」の交差点を南へ曲がる
駅から徒歩約 10 分

【大会事務局】

大阪市立北中道小学校 難聴学級 足立 貢

〒537-0025 大阪市東成区中道 2-9-20

Tel : 06-6971-0440

申込みメールアドレス : kinkibc2025@yahoo.co.jp

（お問い合わせもメールでお願いします）

参加申し込み方法：メールでの参加申し込みの仕方

- 件名は、「近畿ブロック大阪大会参加申し込み」としてください。
- 携帯電話から参加申し込みをされる場合、パソコンからメールが受信できる設定にしておいてください。
- 参加申し込みを確認後、受付済のメールを送信します（5 日経っても返信がない場合のみ、大会事務局へ電話でお問い合わせください）。
- 校内から複数の方が申し込まれる場合も一人ずつ参加申し込みをしてください。
- 本文に、参加希望の講座名と分科会名、校名、所属（難聴学級、通級指導教室等）、学校の電話番号、氏名を記入してください。手話通訳が必要な場合は記入してください（準備の都合上、手話通訳が必要な場合、6 月中に申し込んでください）。